

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年01月31日

計画の名称	安平町復興まちづくり計画												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和06年度 (4年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	安平町												
計画の目標	<p>平成30年9月6日の午前3時7分に発生した胆振地方中東部を震源とする平成30年北海道胆振東部地震において町内最大震度6強を観測し、令和元年9月5日現在、人的被害として重軽傷者17名、建物被害は全壊93棟、半壊364棟、一部損壊2,478棟の被害等が確認されている。</p> <p>今回ブラックアウトが発生したが、主要避難場所の電源確保に苦慮したことのほか、耐震化されていない建物を避難場所に使っていたことなど、災害時の避難場所や災害支援活動の拠点整備が進んでおらず、防災機能の充実が課題となっている。</p> <p>このため、防災機能の充実により災害に強いまちづくりを目指すものである。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,181	A	1,181	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値	最終目標値 (R6末)
1	主要避難場所の耐震化率を75%から100%へ増加させる。 主要避難場所の耐震化率 耐震化率 = 対応済の避難場所 ÷ 4 避難場所当初現況値3 ÷ 4 = 75% 最終目標値4 ÷ 4 = 100%	75%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
安平町強靱化計画に基づき実施される要素事業：A13-001																

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	安平町	直接	安平町	-	-	被災地における復興まちづくり総合支援事業(安平町早来地区)	防災支援施設の整備	安平町						1,181		-	
												小計						1,181		
											合計						1,181			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	2	0	14		
計画別流用増 減額 (b)	2	0	0		
交付額 (c=a+b)	0	0	14		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	0	0	14		
翌年度繰越額 (f)	0	0	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					